

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察速報第1号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病害虫発生予察速報第1号

- 1 対象作物 麦類
- 2 病害虫名 赤かび病
- 3 予報の根拠
 - (1) 本病は、開花期から乳熟期にかけて曇天、降雨が続き、比較的気温が高いと多発する。発病の適温は20～27である。
 - (2) 4月24～25日にまとまった降雨があり、気温も高く経過しており、小麦では開花期をむかえているため、本病の感染に好適となっている。
 - (3) 週間天気予報では、30日に前線の影響でまとまった降雨と、気温が平年並か高いと予想されている。
- 4 防除上注意すべき事項
 - (1) 小麦では開花期の連続降雨により、本病が多発する恐れが大きいため、直ちに防除を実施する。
 - (2) すでに1回目の防除を実施しているほ場でも、雨の合間か、雨が上がったあとに2回目の防除を必ず実施する。
 - (3) 降雨の合間に薬剤防除を行う場合、粉剤では散布後5～6時間以内に降雨があると効果が減少するが、液剤では散布後に薬液が乾くとその後の降雨による効果の低下はない。
 - (4) 赤かび病の被害粒混入上限率は、0.0%となっているので、必ず防除を実施する。
 - (5) 防除薬剤は「平成15年度普通作物病害虫防除基準」を参照し、安全使用基準を守る。